

中間報告

勝山市の小中学校の望ましい在り方について

このように状況の中で、集団教育の場が、どの程度の学校規模、学級規模であることがもっとも望ましいのかを児童生徒の立場に立つて慎重に検討していく必要があります。

学校の適正規模から見た望ましい学校づくり

地域と学校とが共に信頼し合い、情報交換や互いの連携をとりながら次世代を育成するという視点に立ち、児童生徒の教育に当たることが望まれています。それには、学校の教育目標や指導方針が保護者はもちろんのこと、地域住民にも理解されていることと同時に、地域もまた学校運営に対してさまざまな意見や要望を提言できる環境づくりが必要です。

地域に開かれた魅力ある学校づくり

少子化にともなう児童生徒数の著しい減少が見込まれる中、市では昨年7月に関係者や有識者による「小中学校教育の望ましい在り方検討委員会」が設置され、今年3月末にその中間報告がまとまりました。

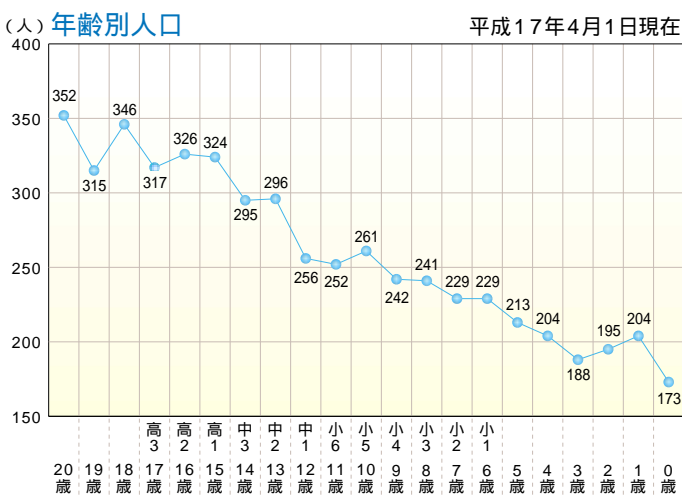


研修会ではこれからの学校や地域の在り方について熱心に話し合われました

豊かな自然との共生のもと、
学校、地域、家庭が支えあい、
ともに育つまち

次世代育成
アクションプラン
全体研修会開催

これからの学校や地域のあり方を考える次世代育成アクションプラン推進委員会全体研修会が、5月18日に市教育会館で開催されました。研修会では、村岡地区、鹿谷地区の実践発表に続き、各地区に分かれて本年度の取り組みについて熱心な話し合いが行われました。同研修会で出された各地区の重点取り組みをご紹介します。



勝山市の小中学校の望ましい在り方検討委員会中間報告

1. 学校と地域は関係が深いので、地域のかたの意見を学校教育の中に反映させるとともに、地域の教育力を活用し、地域に開かれた魅力ある学校づくりを進める。
2. 校区のかたに、子どもの数が大きく減少している現実を説明することおよび住民のかたの意見を聞く機会を設ける。
3. 望ましい教育環境をつくるため、地域住民一人ひとりが魅力ある学校づくりを支援するとともに、子どもの数の減少を食い止める手立てを考える。
4. 児童生徒の減少が著しく、このままの現状では、将来極めて小規模の学校ができる。そこで現実を踏まえて、学級・学校の望ましい規模を検討する必要がある。
5. 市民各界、各層から広く意見を聴く方法について検討するとともに、情報の公開を進める。
6. 校区外から入学を認める特認校制度等についても、調査研究を行う。
7. 検討委員会による「小中学校の望ましいあり方」の検討を継続して進める。

6年後(平成23年度)の小学校児童数の予測

(平成17年4月1日現在の0歳児～5歳児の数より算出)

学年	学年						合計		1学年人数		学級数	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	H23	H17	H23	H17	H23	H17
平泉寺	1	5	5	7	8	7	33	66	55	110	3	6
成器南	57	62	66	72	70	71	398	464	663	773	12	14
三室	7	5	6	6	5	7	36	53	60	88	4	5
成器西	26	43	32	28	33	29	191	260	318	433	7	9
村岡	35	27	33	30	38	40	203	246	338	410	7	10
野向	5	9	1	7	7	7	36	25	60	42	4	4
荒土	8	14	21	8	16	15	82	115	143	192	6	6
細野分校	2	1	1				4	7	13	12	1	1
鹿谷	21	22	16	16	17	17	109	111	182	185	6	6
北郷	11	16	14	14	10	20	85	100	142	167	6	6
合計	173	204	195	188	204	213	1,177	1,447			56	67

○で囲んだ部分は、複式学級の対象となる学年を示しています。

これからの学校の在り方を考える。市民対話集会を開催

少子化が進む中、勝山市の小中学校の望ましい在り方について話し合う「市民対話集会」が、5月30日、市民会館で行われました。当日は、学校関係者や市民ら約200名が参加しました。

開会のあいさつで山岸市長は、「学校の適正規模は、いまの現状をご理解いただいたうえでこれから協議を重ねていきたい」と述べました。

集会ではまず、市側が現在の新生児出生数と、現在の児童数を示しながら、これから先の市内の児童数の推移を説明しました。これを受けて行われた質疑応答では、「学校の統廃合はあるのか」、「出生数を増やす努力を」などの質問が市民から出され、子どもたちの将来について真剣な討論が行われました。

今後は、地域座談会にも拡大して、この課題について市民のみならずとさらに協議を進めていきます。



勝山市立公民館のあり方検討委員会の提言について

生涯学習課 (内線481)

1. 住民参画運営体制を構築する。
2. 住民ニーズに対応した開館日、開館時間にする。
3. 地域資源を生かしたまちづくりにかかわる。
4. 各種団体・サークルへの適切な支援を行う。
5. 公民館職員の資質の向上を図る。
6. 地域による公民館の自主運営について調査・研究する。

